

2009年10月9日

デジタル・アドバイジング・コンソーシアム株式会社

インターネット広告提供システムに関する特許取得のお知らせ

このたび、デジタル・アドバイジング・コンソーシアム株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:矢嶋弘毅)は、当社が独自に開発した『AD-Visor® NEXT』に関する特許を新たに取得しましたので、以下のとおりお知らせいたします。

【取得した特許】

今回取得した特許は、『AD-Visor® NEXT』(1)に搭載の FLASH(2)解析技術、およびメディアデータベースのビジネスモデルに関するものです。

特許番号	特許第 4362117 号
発明の名称	インターネット広告提供システム
特許出願日	2005 年 11 月 24 日
特許取得日	2009 年 8 月 21 日

- (1)50 社を超える広告会社に提供している、DAC が独自に開発したインターネット広告のメディアプランニングシステムです。
http://www.dac.co.jp/service/technology/ad_planning/ad_visor_next.html
- (2)米国アドビ システムズ社によって開発された、ウェブ上でアニメーション等を作成するソフトウェア、又は作成されたファイル等の名称です。

【FLASH 解析技術】

DAC の FLASH 解析技術とは、広告素材である FLASH について、媒体毎に異なるレギュレーションの検査を可能な限り自動的かつ正確に実施する技術です。過去の広告原稿に関する情報や規定情報が蓄積されたデータベースと出稿する広告内容を照合し、広告がどのような動きをするのか、決められた規定を満たしているのか等を解析・検証することが出来ます。

この技術を活用することにより、インターネット広告出稿に不可欠なレギュレーション検査を効率化し、広告出稿管理をよりスムーズに行うことが可能となりました。

【メディアデータベースビジネスモデル】

メディアデータベースビジネスモデルとは、インターネット広告枠やモバイル広告枠を提供する媒体社と、DAC との情報交換をより正確に、より迅速に、より緊密に行うことを目的としたビジネスモデルです。このモデルでは、媒体社が最新の媒体データ・広告メニューやお知らせなど、様々な情報を『AD-Visor® NEXT』のメディアデータベースに登録すると、DAC は迅速にその情報を広告会社に発

信するというものです。広告会社と媒体社が行う媒体取引の円滑化・効率化を実現するためのシステムです。

【特許の意義と今後の展開】

DAC は、メディアレップ事業を主力事業としておりますが、広告取引を仲介するだけでなく、DAC の強みであるテクノロジー開発力を活かして、取引の効率化や高度化に貢献してまいりました。

DAC では、今後もインターネット広告に関わる様々なプレーヤーのニーズを的確に捉えてアド・テクノロジーの開発を行い、インターネット広告業界の発展に貢献するとともに、DAC が推進する企業ビジョンである「e広告プラットフォーム創造企業」の実現を目指していきたいと考えております。

以 上

本件に関するお問い合わせ先：

デジタル・アドバイジング・コンソーシアム株式会社

担 当 ： 戦略統括本部 広報担当

T E L ： 03-5449-6300

e-mail ： ir_inf @dac.co.jp